

入学試験情報

募集人員

医療福祉学専攻修士課程の入学定員10名の内若干名を本コースの募集人員とします。

出願の条件

大学の卒業学部は、原則として問いません。本大学院修士課程学生募集要項の出願資格を満たせば、医療関連資格がない方の出願も可能です。

出願の前に、必ず、本コース代表者(山内泰子)までご連絡ください。

<メールアドレス: yamanouchi[at]mw.kawasaki-m.ac.jp>
([at]を@に変えて送信してください)

2022年度 入学試験日程

修士課程1期 入学試験日 2021年8月31日(火)

修士課程2期 入学試験日 2022年2月22日(火)

(正式には7月以降の大学HPでご確認ください)

試験科目

① 筆記試験

専門科目: 専攻分野(医療福祉・遺伝)に関連したもの

英語*: 医療福祉分野に関連したもの

* 一般的な英和辞書1冊のみ持ち込み可

(和英を含むもの、大型のもの、専門用語集と
なっているもの、および電子辞書類は不可)

② 口述試験

主として専攻分野について個別に行います。

学費

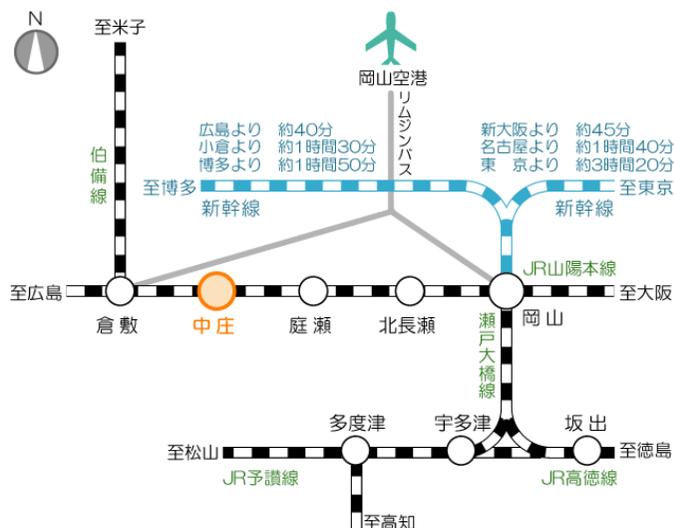
初年度 900,000円(入学金200,000円を含む)

・募集要項の詳細は入試課へお問い合わせください。

・大学ホームページ入試情報 URL:

<https://w.kawasaki-m.ac.jp/exam/>

交通アクセス



周辺図



川崎医療福祉大学

大学院医療福祉学研究科 医療福祉学専攻修士課程
遺伝カウンセリングコース

〒701-0193 岡山県倉敷市松島288

TEL: 086-462-1111 FAX: 086-464-1109

2022年度版

川崎医療福祉大学 大学院医療福祉学研究科 医療福祉学専攻修士課程 遺伝カウンセリングコース

国内最初の医療福祉領域に設置された、
中国・四国地方で最初に認定された
遺伝カウンセラー養成課程です。
認定遺伝カウンセラー試験の受験資格
が取得できます。



Genetic Counseling Program
Graduate School of Health and Welfare
Kawasaki University of Medical Welfare

📌 **本コースの目的**

遺伝医療の現場で活躍できる認定遺伝カウンセラーの養成を目的としています。医療福祉領域に設置された国内最初の認定養成課程で、2005年に開設しました。遺伝医学等の基礎知識、倫理や心理などの専門知識、遺伝カウンセリングに必要な専門技術を学び、各自が遺伝カウンセリングの専門家として備えるべきスキルを修得できるよう指導します。修士論文(課題研究)を作成し、学会発表の経験を積み、遺伝カウンセリング・遺伝医療の研究・教育者としての能力も身につけます。

📌 **認定遺伝カウンセラー®とは**

遺伝医学とカウンセリングに熟達した有資格者で、遺伝に関する問題に直面した方々を支援します。

欧米での活躍は50年を超えており、国内では厚生労働科学研究(平成10～16年度)の結果、医師でない遺伝カウンセリングの専門家の必要性が示されました。認定遺伝カウンセラー制度が2005年にスタートしてからこれまでに289名(2021年4月現在)が認定遺伝カウンセラー資格を取得しました。多くが病院の各診療科に、また企業、研究・教育、福祉領域のほか、行政や団体など様々な領域に就職しています。

遺伝医学の急速な進歩により、体質を考慮した新しい遺伝医療が始まっています。原因遺伝子がわかって治療や予防方法がある疾患がある一方で、原因遺伝子がわかって根治療法がない疾患もあります。このように遺伝医療では、患者さんやご家族の疾患の理解が必要不可欠で、遺伝カウンセリングが欠かせません。

患者さんやご家族の意思決定により、検査や治療・ケアから最も適切な選択をするために、遺伝性疾患による複雑な心理社会的な問題を整理し、情報提供や支援を行います。認定遺伝カウンセラーは倫理的問題を来談者や医師とは独立した立場から対応します。遺伝の問題は特別な家系ばかりでなく、だれもが遭遇する可能性があります。

遺伝医療には、多くの診療科と多職種によるチーム医療が求められます。認定遺伝カウンセラーは関連職種とのコーディネート役も担います。認定遺伝カウンセラーは、臨床遺伝専門医と協力して、遺伝カウンセリングにあたる遺伝医療の専門家です。専門性を生かし、病院ばかりでなく多様な領域での活躍が期待されます。遺伝や遺伝医療のリテラシーを多くの方に伝えることも職務の一つです。

「認定遺伝カウンセラー®」は、日本遺伝カウンセリング学会と日本人類遺伝学会による認定資格です。

📌 **認定遺伝カウンセラー®になるには**

本コースのように認定遺伝カウンセラー制度による認定養成課程が設置されている大学院修士課程を修了すると認定試験の受験資格を得ることができます。認定試験に合格すれば認定遺伝カウンセラー資格を取得できます。認定試験は、筆記試験(臨床遺伝専門医との共通問題と認定遺伝カウンセラー専門問題)およびロールプレイを含む面接から構成されています。

📌 **本コースの特徴**

全国で最初の医療福祉大学である本学の特性を活かし、医療福祉の視点からも遺伝カウンセリングを学ぶことができる充実したカリキュラムです。

遺伝カウンセリングの実習は、本学の関連施設である川崎医科大学附属病院遺伝診療部や倉敷中央病院遺伝診療部、神奈川県立こども医療センター遺伝科など複数の遺伝カウンセリング実施施設で行います。診療経験豊かな臨床遺伝専門医(指導医)と認定遺伝カウンセラー(指導者)が本学教員として直接指導します。

遺伝診療カンファレンスは学内だけでなく、川崎医科大学附属病院遺伝診療部、倉敷中央病院遺伝診療部のカンファレンスに参加し、事例検討等を通して遺伝カウンセリングの理解を深めます。認定養成課程の院生は同席した全遺伝カウンセリング記録の提示・討論からも遺伝カウンセラーとしての資質を身につけます。遺伝医学に関する専門書の輪読会なども行っています。

📌 **担当教員**

氏名	職名	主な担当領域
山内 泰子	教授(認定遺伝カウンセラー・指導者)	遺伝カウンセリング、基礎人類遺伝学、遺伝医療と生命倫理
升野 光雄	教授(臨床遺伝専門医・指導医)	基礎人類遺伝学、臨床遺伝学、遺伝カウンセリング
黒木 良和	客員教授	基礎人類遺伝学、臨床遺伝学、遺伝カウンセリング
大友 孝信	非常勤講師	基礎人類遺伝学
黒澤 健司	非常勤講師	遺伝サービス情報学、臨床遺伝学、遺伝カウンセリング
二宮 伸介	非常勤講師	基礎人類遺伝学、臨床遺伝学、遺伝カウンセリング
後藤 雄一	非常勤講師	神経筋疾患
佐村 修	非常勤講師	周産期領域
田村 和朗	非常勤講師	家族性腫瘍
野村 文夫	非常勤講師	遺伝医療
山本佳世乃	非常勤講師	遺伝カウンセリング学研究

📌 **履修要件**

必修科目38単位ならびに選択科目6単位以上を修得すること。

📌 **取得できる学位および資格**

- 修士(医療福祉学)
- 認定遺伝カウンセラー認定試験の受験資格

📌 **コース修了者の進路**

川崎医科大学附属病院、岡山大学病院、広島大学病院、大阪大学医学部附属病院、宮崎大学医学部附属病院、国立病院機構 新潟病院、京都医療センター、大阪刀根山医療センター、静岡県立総合病院、県立広島病院など

📌 **コースに関する問い合わせ**

興味のある方は、気軽に問い合わせください。
コース代表者: 山内泰子(認定遺伝カウンセラー®・指導者)
川崎医療福祉大学医療福祉学部 教授
メールアドレス: yamanouchi[at]mw.kawasaki-m.ac.jp
([at]を@に変えて送信してください)

川崎医療福祉大学大学院 医療福祉学研究所
医療福祉学専攻修士課程 遺伝カウンセリングコース
〒701-0193 岡山県倉敷市松島288
TEL: 086-462-1111 FAX: 086-464-1109

遺伝カウンセリングコース URL:

https://w.kawasaki-m.ac.jp/dept/graduate_welfare_sw_genetic/